

# 日本経済新聞

平成 19 年 10 月 26 日(金)朝刊

キリンホールディングスの花き事業子会社、キリンアグリバイオ(東京・中央、松尾学社長)は二十五日、浜名湖花博会場跡地に設けた花き商品開発センター写真の開設式を開いた。キリンホールディングスの松沢幸一常務は「地元生産者と連携を強め、新しい価値を生み出していきたい」と抱負を述べた。同センターで新品种を商品化し、全国の生産者へ提案していく。

## 花き商品開発センター開設

キリンアグリバイオ、花博跡地に



県産業部みかん園芸室の内野稔室長は「センターと産地の協力で新品种を開発し、ブランド化をすすめたい」とセンター開設に期待を寄せた。セ

## 新品种商品化、全国へ発信

センター周辺はガーベラの一大産地で、行政は地域の産業振興につながるものとみている。センターは八棟の温室からなり、温室の面積は三千七百平方メートル。カーネーションや菊、バラ、ガーベラなどの約千五百種類の新品种を試験栽培する。また、商品化した花の展示スペースもあり、全国の生産者へ紹介していく。一棟は一般公開用の温室とし、今後開放する予定。